

こんにちは! かさもと 俊也 です!

元気ハツラツ写真レポート!

vol.1 で掲載した以降の写真をまとめております



8月

▲ 山本県知事と

平成 24 年 8 月から、新しく県政を担う山本繁太郎知事と（知事室にて）



10月

▲ 副委員長就任

決算特別委員会副委員長に就任



10月

▲ 紀ノ國屋青山店山口フェア視察

県産品の販路拡大を目指し開催された紀ノ國屋山口フェア視察（青山店にて）



10月

▲ 全国和牛能力共進会視察

第 10 回全国和牛能力共進会視察。佐世保市にて開催（榎本農林水産委員長と）



10月

▲ 全国都市緑化フェア視察

第 29 回全国都市緑化フェア TOKYO を党県議団で視察。（吉田充宏県議と）



11月

▲ 第 31 回中国地方県議会議員親善野球大会

山口県議会チームは、見事準優勝を果たしました（西京スタジアムにて）

県政報告会・対話集会

平成 24 年は、市内 14 ヶ所において、県政報告会・対話集会を開催いたしました。皆様からいただいたご意見・ご要望は関係機関に対応を申し入れています。



▲ 川尻地区 10月29日（月）



▲ 野波瀬地区 11月13日（火）



▲ 俵山地区 11月6日（火）



▲ 立石地区 11月26日（月）



仙崎新市場にて初セリ
(1月：山口ながと漁協仙崎支所)

こんにちは!かさもと俊也です!県政レポート

【vol.2】2013年1月1日発行

2013年スタート!

皆様には初春のお慶びを申し上げます。議員活動を始めていただき、一年が経過しました。皆様にはその間、様々な場面でひとかたならぬお世話になり、深く感謝を申し上げます。

昨年は、県議会の本会議におきまして、二度にわたり一般質問に登壇させていただきました。今後も長門地域にお住まいの皆様、代弁者として、重責を全うしてまいりたい所存です。さて、世界に目を向けますと、昨年はアメリカで大統領が再選され、ロシア、中国、韓国などでは新しいリーダーが誕生した年でありましたが、わが国におきまして、自由民主党が政権を奪還、第二次安倍内閣が誕生し、歴史的な日本再生の第一歩を踏み出しました。本県におきましても、県を再起動させることとした山本新知事が就任し、いの一の重点課題として、「産業力・観光力の増強」を掲げられました。本年4月には、「産業戦略本部」が設置され、明日の地域の活力を生む強い産業力の形成に向けた取組がいよいよ始まりま

す。私は、わが長門地域が得意とする農林水産業や観光産業など、県内各地域が持つ産業潜在力や特色を活かした施策を進めていくところ、新たな県づくりの第一歩と考えます。これに先んじ本市においても、大西市長が「ながと成長戦略検討会議」を立ち上げられましたので、本年は、国・県・市が携え経済再生に向けた施策を次々と実現に移していく、まさにスタートの年となります。加えて、少子高齢化に歯止めがかからない社会の中で、長門地域をはじめとする中山間地域の自立・発展にとって、子育てや教育、医療や福祉の充実も待ったなしの課題です。

私は、県政最大与党の一員として山本知事を全力で支えてまいります。本年が皆様にとりまして幸多き年となりますよう祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

山口県議会議員
山本俊也

山口県議会11月定例会 笠本俊也一般質問要約

昨年の11月定例会本会議において、私は自身2回目となる一般質問に登壇しました。秋口から市内各地域でミニ集会を重ね、皆様から寄せられたご意見やご要望を踏まえ、6項目にわたる質問を行いました。

今回のテーマは、長門地域が多く抱える中山間地域の振興対策です。誌面の関係もあり、そのうち3項目について報告しますが、他に、①中山間地域の自立を促すための森林、水力、太陽光など未利用エネルギーの活用促進、②医師・看護師確保対策と地域医療連携の確立、③市制始まって以来の痛ましい被害をもたらした浸水地区の火災を踏まえて、住宅防火対策について質問し、県の積極的な答弁を求めました。

質問① 産業戦略本部と市町との連携について

知事は、本県の発展は強い産業力なくして語れずと、本県の産業集積を活かした産業力の強化を提言され、「産業戦略本部」の設置を目指しておられる。

地元長門市でも「ながと成長戦略検討会議」が設置され、農林水産業や観光産業などの地域資源を活かした持続可能な成長戦略の取組が始められた。

知事は、県全体の産業戦略を構築されるに当たり、大局的視点に立ちつつ、市町のこうした取組との役割分担をどう考え、どう連携していけるのか。

答弁 山本繁太郎県知事

笠本議員から大切な視点での質問をいただいた。私は、「輝く、夢あふれる山口県」を実現するためには、何よりも「産業力・観光力の増強」を図り、地域の活力を高めていくことが重要と考えている。

現在、市町等のニーズや課題の集約に努めており、中小企業の育成や県産品のブランド化による販路拡大、農産物の6次産業化などさまざまなご意見をお聞きしている。

今後、具体的に産業戦略を進めていく中で、市町の取組をも考慮しながら、広域的なインフラ整備や人材育成など広域行政体の県として取り組む戦略と、地域の個性や強みを活かした市町の戦略など



について役割分担を整理し、相互の連携強化を図ってまいります。

俊也の目!

知事の答弁からは、本県産業の再生に向けて、県と市町が手を携えて取り組んでいくことの強い思いをうかがえた気がします。そのためには、長門市で取り組まれている「成長戦略」の加速化に向けて、皆様と力を合わせて取り組んでいかなければならない、県を引っ張っていきけるくらいのモデルにしたいと、改めて思いを強くしたところです。

質問② 海岸漂着ごみ処理対策の推進について

本県は全国6番目の長く美しい海岸線を有しているが、長門市においては、貴重な観光資源であるとともに、漁業の重要な基盤である。しかし、海岸にたどり着く漂着ごみが、これらに深刻な影響を及ぼしている。

長門市では、地域住民が結集し、一斉清掃活動などに取り組んでいるが、地理的不便などが重なり、除去にたいへんな困難が伴う中、現地焼却ができないものが思案をめぐらしている。

また、国の補助が終了する来年度からは、市町の膨大な費用負担も懸念される。困難を極める回収・処分を含めた海岸漂着ごみ処理対策の推進について、県はどのように取り組むのか。

答弁 門田環境生活部長

県では、海岸漂着ごみの地域別計画を策定した上で、市町や海岸管理者、関係団体などで構成する協議会を設置し、公民一体となって、回収・処分に対応している。

こうした中、財政支援については、引き続き、回収の責務を有する国に対し、強く要望している。

また、地域における回収活動の継続・強化に向けては、環境美化情報ネットワークなどを通じて、参加者の拡大を図るとともに、民間団体などと連携し、関連資材などの新たな支援方策も検討していきたい。

現地焼却については、廃プラスチックなども含まれており、有害物質の発生による人体などへの影響も考えられることから、慎重な検討が必要であり、引き続き検討してまいります。

俊也の目!

県としても、地元住民による懸命な回収活動を高く評価しており、回収に伴う関連資材の新たな支援策の検討など前向きな答弁がありました。現地焼却については、引き続き検討するということですので、対応状況を注視してまいります。地元の皆様には、たいへんなご迷惑をおかけしますが、今後ともご協力を賜りますようお願いいたします。

質問③ 県立高校における副校長の配置について

大津緑洋高校など再編整備が進む県立高校において、新たな魅力を創り上げていくためには、自立的・機動的な学校運営の体制整備が必要であり、これまでも校長から任せられた校務を自らの権限で行使できる「副校長」の配置を要望してきました。

現在、すべての学校が特色ある学校づくりに取り組んでいる中にあるのは、それぞれの地域や学校の状況・課題を的確に把握しながら経営管理を行う必要があると考えるが、「副校長」配置の方向性はどうか。

答弁 田邊教育長

副校長は、一定の権限を持ち、校長とともに、学校を代表して校内外への働き

かけができるため、学校の規模や特色などに応じて配置することにより、組織的・機動的な学校運営を推進し、保護者や地域の声を反映した学校づくりや、諸課題への的確かつ迅速な対応が可能といった効果が期待される。

副校長の配置については、学校の組織運営体制や指導体制に与える影響や現行の職との関係、職務内容などについて整理する必要があるので、今後の学校運営のあり方を含め、引き続き検討してまいります。

俊也の目!

教育長から、法改正により配置可能となった現実を踏まえ、その効果などを考慮の上、諸課題を整理しながら検討するとの答弁をいただきました。私も、大津緑洋高校における「副校長」の早期配置に向け、引き続き積極的に働きかけてまいります。

こんにちは!かさもと俊也です!県政レポート

[vol.2] 2013年1月1日発行

発行: **かさもと俊也事務所**

住所 〒759-4101 長門市東深川 2542-3 レインボービル1階

TEL/FAX 0837-22-5226

HP かさもと俊也ブログ <http://ameblo.jp/kasamotoshiya/>

EMAIL kasamotoshiya@gmail.com

県政に対する皆様のご意見・ご要望をお寄せください!